

授業科目	*初年次セミナーⅡ					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	中原 智美										
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着実な力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p>										
授業形態	講義	授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 6. 学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1) <p>学生が達成すべき行動目標を達成することができる。</p>										
理想的レベル	学生が達成すべき行動目標を達成することができ、主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢がみられる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)					備考					
試験											
小テスト											
レポート	30%										
発表(口頭、プレゼンテーション)	30%										
レポート外の提出物	25%										
その他	15%										
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU10202J
										ゲ	

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの整理 ・その回ごとの学習課題は別途配布資料で具体的に指示する。 		1
授業計画		
第1回	初年次セミナーI から初年次セミナーII に向けて (木村) (全教員)	
第2回	初年次セミナーII オリエンテーション (中原) <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、評価指標の説明 ・課題レポートの概要説明 ・シートの説明 研究倫理 課題発見(1) 「課題をみいだす」(全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・「レポートの設計」(木村) ・課題をグループで見いだす・調べる 	
第3回	課題の明確化 (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・小冊子の構成を考える ・担当領域を決める ・担当領域に関する文献を調べる ・担当領域のレポート計画書(アウトライン)を作成する 	
第4回	レポート(各章)の作成(1) (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・グループで担当領域のレポート計画書(アウトライン)について共有し、意見交換を行う ・担当領域についてレポートする(1章あたり2,000字程度) 	
第5回	レポート(各章)の作成(2) (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・担当領域についてレポートする(2000字程度) 	
第6回	課題をまとめる (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・討論 ・小冊子作成(序論、本論、結論) 	
第7回	プレゼンテーション(1) (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの概要説明(中原) ・プレゼンの基本スキルを学ぶ(目野) 課題発表の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・要旨の作成 	
第8回	プレゼンテーション(2) (全教員) <ul style="list-style-type: none"> ・要旨の作成 	

	・スライド、発表原稿の作成
第9回	プレゼンテーション(3) (全教員) 課題発表の準備 ・スライド、発表原稿の作成
第10回	プレゼンテーション(4) (全教員) ・質疑応答について 課題発表の準備 ・要旨の修正 ・発表の説明 ・発表会での役割決め
第11回	プレゼンテーション(5)-1 (全教員) 各グループ内で ・発表会リハーサル ・効果的なプレゼンテーションのための意見交換、他者評価 ・スライド修正
第12回	プレゼンテーション(5)-2 (全教員) 各グループ内で ・発表会リハーサル ・効果的なプレゼンテーションのための意見交換、他者評価 ・スライド修正
第13回	プレゼンテーション(6)-1 (全教員) ・教室に分かれて発表、評価
第14回	プレゼンテーション(6)-2 (全教員) ・教室に分かれて発表、評価 ・講評
第15回	まとめ (全教員) ・優秀グループによる発表 ・ゼミ別：発表動画、他者評価をもとに振り返り、学びを深める
テキスト	必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 その都度ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	・溝上慎一著『大学生の学び・入門』有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』くろしお出版 ・新谷恭明、折田悦郎『大学とはなにか』海鳥社
課題に対するフィ	・提出課題に対しては、その内容に応じて、全体・グループ・個別にコメントします。 ・達成度評価については、成績発表後に評価分布を提示します。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none">・「初年次セミナーⅠ」で学修した基礎的知識やスキルを振り返り、活用できるようにしておきましょう。・社会問題、環境、経済、文化・芸術、スポーツ、ICT、医療、教育など、さまざまな分野の書物やニュースに興味関心を持ち、課題を発見しましょう。・多様なものの見方で物事を探求する姿勢を養いましょう。・グループワークにおける論理的・批判的思考を用いた積極的な発言を期待しています。・レポートは、構成・内容・テーマにそった一貫性と探求する姿勢を、プレゼンテーションは、パワーポイントの構成、発表態度を、ポートフォリオは整理工夫と提出状況を、グループワークはメンバーとの協力や意見交換など積極的姿勢を指標に評価します。